



龍野ロータリークラブ週報

ロータリーのマジック

2024-25 年度国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

	2024-25 年度 会長 片岡孝次 幹事 池田和由 広報委員長 萩野正和	例会: 毎週木曜日 12:30~13:30 龍野経済交流センター1階 事務局: 〒679-4167 たつの市龍野町富永 702-1 龍野商工会議所内 TEL 0791-63-4141 FAX 0791-63-4360 E-mail tatsuno-rc@tatsuno.or.jp
---	--	---

No.1 (3158 号) 2024 年 (令和 6 年) 7 月 4 日 (木) 晴
例会記録

<u>点鐘</u>	君が代 奉仕の理想
<u>来客</u>	なし
<u>来訪会員</u>	なし

出席報告

会員数	出席	出席免除	欠席	出席率	前々回欠席	メークアップ	修正出席率
29	18	10	11	81.81%	3	2	95.65%

会長の時間 ●片岡会長

ご挨拶

理事・役員、そして委員会構成など、紆余曲折ございましたが、皆さまのお力添えをいただき、ようやく今日のこの日を迎えることができました。ありがとうございます。

これから的一年、私は、ロータリーの『四つのテスト』と、アメリカの経営コンサルタント、スティーブン・R・コヴィー氏が、成功者の習慣をまとめた『7つの習慣』に照らして、行動して参りたいと考えています。7つの習慣とは

- ①主体的であること
- ②終わりを思い描くことから始めること
- ③最優先事項を優先すること
- ④Win-Win を考えること
- ⑤まず理解に徹し、そして理解されること
- ⑥シナジーを作り出すこと
- ⑦刃（己）を磨くこと

です。この後の 10 分間いただいた「会長方針」のコーナーで詳しいことはお話をさせていただきます。

これから向う一年間、ご指導いただきますようよろしくお願ひいたします。

【ご報告】

昨日の読売新聞に、うれしい記事が掲載されておりましたので、ご披露申し上げます。

山陽盃酒造さまの播州一献が令和 5 酒造年度の全国新酒鑑評会で金賞を受賞されました。「麹の作り方を工夫されて甘さを抑えたシャープなお酒に」とありました。他にも本田商店「米のささやき」、灘菊酒造、明石の茨木酒造さまがそれぞれ金賞を受賞されておられました。まだ少し先のことにはなりますが、壇阪様の入会の日を楽しみにしたいと思います。

昨日、近畿大学病院 辰己陽一 血液・膠原病内科教授で、医療安全対策部長のお話を、兵庫県立はりま姫路医療センターで聞いてまいりました。辰己先生は、神戸生まれで、1 才に満たないときから淳心高校卒業まで姫路にお住まいという方です。医療安全対策を行う上での考え方、施策について「技術課題」「適応課題」についてお話をいただきました。その際にロータリーの研修でよく耳にするようになった、DEI (Diversity、



Equity、Inclusivity) 多様性・公平性・包括性のお話が出て参りました。チーム STEPPS どちらが先かはわかりませんが(チーム STEPPS とは、Team Strategies and Tool to Enhance Performance and Patient Safety」の頭文字をとり命名)、医療の安全に取り組むために、患者ケアチームの『パフォー

ガバナー補佐ご挨拶

●西播第2グループガバナー 中村孝秀様



本年度、ガバナー補佐をさせていただく、中村孝秀です。職業分類は税理士で、太子町在住、ロータリークラブは1998年入会し、今年で26年目に入っています。

今年度の RI ステファニー A. アーチック会長は、“THE MAGIC OF ROTARY (ロータリーのマジック) ”をテーマに掲げています。

マンス・知識・態度』が最高な状態とするために、「リーダシップ」・「状況モニター」・「コミュニケーション」・「相互支援」のための仕組みを作り延々と見直すために DEI を理解することが必要との事でした。詳しくは、後日会長の時間でご紹介させていただきたく思います。

ガバナー補佐 中村孝秀様

また、2680地区矢坂誠徳ガバナーは、“Heartwarming Rotary~心から心へのメッセージ手に手つないでロータリーのマジックを実現しよう！”を行動指針にあげておられます。私は、ガバナーの行動指針を基に西播第二グループの結束と活性化に尽力したいと思います。

IMを、令和6年11月30日(土) ホテルモントレ姫路で14時から開催いたします。補佐として、「ロータリー初心忘るべからず」をモットーとして、各会員が、“Rotary's Value”を再確認し、クラブとロータリーに対する自負を確立していただく一助となるように努力したいと思いますので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

クラブアッセンブリー

1. 開会

2. 定足数確認

3. 議長選出

4. 議事

(ア) 協議事項

- ①2024-25年度 事業計画及び収支予算
- ②2024-25年度 理事・役員・委員会構成

(イ) 報告事項

- ①2024-25年度 年間行事予定(クラブ、RI 及び地区)
- ②2024-25年度 RI 及び地区関係分担金
- ③2024-25年度 祝品・記念品・その他

5. 閉会

例会プログラム

新年度会長方針

●片岡孝次会長



四つのテストと、『7つの習慣』を鑑みたクラ

ブ運営

『7つの習慣』とは、

① 主体的なこと

主体的な人は、間違いを早急に認めて自己修正を図る。さらに、そこから教訓を得るものである。このアプローチにより、失敗が成功のもとなる。) 私は 1993 年龍野コルクに入社いたしました。以降、伊藤充弘会員には 5,000 円貸して!と言われて龍野納稅協会青年税務研究会



(現、青年部)に、ロータリークラブには、淺井良平会員・嵯峨山章会員・玉越進会員・淺井研介会員・伊藤哲郎会員はじめ多くの方々に納税協会の宴席で取り囲まれ、盃を何度も交えた後入会を決意したことを昨日のことのように思い起こします。私は、気が付いた時には入会していた。先輩諸氏の圧に押されて入会しましたが、心底入会させていただき感謝しております。少々強引と言われても、失敗を恐れずに会員増強に力を注ぎ、「強引に入会させられたなあ!」から、「入会させていただき良かった」と思う会員を一人でも多く生み出すことに力を注いで参ります。失礼があればお詫びいたします。ご協力をお願いします。

② 終わりを思い描くことから始めること

今日のこの日と比べて、一年後の龍野ロータリークラブが、和気あいあいあとメンバーが集い学び、多様性が膨らんでいることを目指します。

③ 優先事項を優先すること

本年度は、例会場にいつも新鮮な空気が注がれ、熱気であふれるよう、新入会員や新入会員候補者を一人でも多く例会場に招き入れることを優先させていただきたいと考えています。

④ Win-Win を考えること

新入会員を入れることができて喜びを感じる。新入会員は入会して本当によかったと思える。このような集まりを目指します。

⑤ まず理解に徹し、そして理解されること

会員の皆さまが、互いの話をよく聞き、また自身の体験や価値観を話す場となるように、例会プログラムに工夫をしてまいりたいと考えています。

⑥ シナジーをつくりだすこと

少し口うるさいお話をさせていただきます。私が入会した2002年から10年弱の間、淺井彌七郎会員、入江慶次郎会員、西田晴彦会員はじめ、お顔、お姿を見ているだけで勉強になる会員が、数多くおられました。例会場の皆さんには、

『良いお辞儀、話を聞く良い姿勢』でおられました。中でも50年間ホームクラブ100%出席を貫かれた淺井彌七郎会員のお姿を忘れることはないと思います。(あくまで私が認知症にからなければですが・・・) 2009-10年度の公式訪問事前報告書を最後に、淺井彌七郎会員のお名前が消えた後、龍野ロータリークラブの話を聞く意識が低下したのかもしれません。私が思う「良い姿勢」とは、●話す相手に向いて座る●足は組まずに胸を張り、ちょっと前かがり・前のめりの姿勢で座る●相手の顔(目や額、眉間あたり)を見るというものです。足を組み椅子に腰かけることはカラダのバランスをとるためだと言われています。カラダの右側にある1.3kg~1.5kgの肝臓が理由だと言われています。しかし足を組んで座ると、①横揺れに耐える役割を担っているお尻の筋肉が引き延ばされて弱くなる。②弱くなったお尻の筋肉に替わり横揺れに耐えようと外モモがはって太くなる。③お尻の筋肉が伸びてタレ尻になる。④骨盤が歪む。⑤腰痛の原因になる。といった具合に良いことは一つもありません。本條会員や、伊藤会員のように両足を地につけて、少し前かがりで座り、骨盤が立つ姿勢を意識してみてはどうでしょうか。

⑦ 刃(己)を磨くこと

意見を出し合う時には、評論家・批評家のような発言は慎む。選択肢を増やす発言をする。選択肢を奪う発言は慎む。意見の背景の理解に努める。皆がWin-Winになるような時間となるような発言につとめること。

以上の7つに意識を置いて、会長をつとめたいと思います。

今年度は、私が入会した当時に近い、クラブ運営部門の委員会を設けました。全ての会員は、クラブに所属するではなく、「参加する」に、変わっていたいからです。皆さまから、少しずつご協力をいただきますようお願いします。

一年、ご指導をお願いいたします。